

構成



イソ ML-1st				
規格	スタンダードタイプ	両腸骨L型コネクタータイプ	恥骨L型コネクタータイプ	恥骨/両腸骨タイプ
品番	1-501-013-50	1-501-013-60	1-501-013-70	1-501-013-80
骨盤部前方の胴受けマット 組合せ				※左記3タイプ全ての組合せが可能です。
	ML-1st 用ベースフレーム 全長 715mm× 全幅 500mm	1	1	1
	ML-1st 用ベースフレームマット	1	1	1
	ML-1st 用腋窩枕	1	1	1
構成	ロッドブッシャー	1	1	1
	ML-1st 用胴受け取付バー Lサイズ	2	2	2
	ML-1st 用胴受け取付バー Mサイズ	2	2	2
	ML-1st 用胴受け取付バー Sサイズ		1	1
	L型コネクター コネクター固定ボルト 2個セット	4	4	4
	L型コネクターロング コネクター固定ボルト 2個セット		1	1
	丸型胴受け M φ70mm× 棒長 180mm	2	3	3
	角型胴受け M 縦 150mm× 横 60mm× 棒長 180mm	2	2	2
	丸型胴受けマット M φ90mm× 厚さ 30mm	2	3	3
	角型胴受けマット M 縦 175mm× 横 85mm× 厚 30mm	2	2	2
	組立イメージ			
				※左記3タイプ全ての組立てが可能です。

イソML-1st

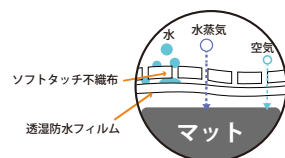
側臥位による手術、とりわけ股関節部の手術において術者の要求するポジションが得られるようデザインされた製品です

両腸骨L型コネクタータイプ

恥骨L型コネクタータイプ

スタンダードタイプ

アクセサリ



手術架台専用「マットカバー」
通気性と透湿性のある肌に優しい素材を採用しています。
特殊な二層構造で皮膚の摩擦、ずれを軽減します。
※詳細は「マットカバー」カタログをご覧ください。

品番	商品名	規格
1-501-000-52	マットカバー丸型マットM	1箱50枚入
1-501-000-53	マットカバー角型マットM	1箱50枚入



製造販売元
株式会社
イソメディカルシステムズ
本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8

問合せ先 〒277-0863 千葉県柏市豊四季495-14
TEL 04 (7141) 4021 FAX 04 (7141) 4022
URL: <https://www.isomed.co.jp/> 品目届出番号 :12B1X10016000137



▲製品詳細サイト



株式会社
イソメディカルシステムズ

側臥位用手術架台イソML-1stは側臥位による手術、とりわけ股関節部の手術において術者の要求するポジションが得られるようにデザインされた製品です。

特長

◎理想的なポジショニング

胸受けマットと腋窩枕の位置調整を自由に行うことができるので、患者の体格にあわせた3次元的な調整と様々なアプローチに対応できる強固なポジショニングを可能にします。



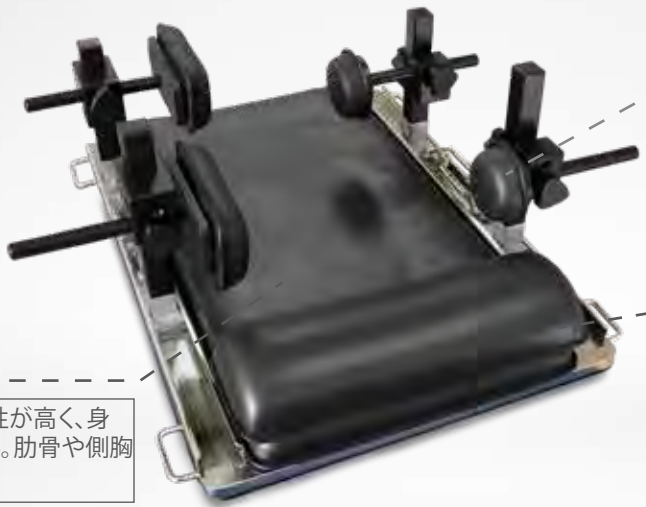
後側方進入



前側方進入

◎高性能ゲル素材を採用

身体が触れるマットは全て高性能ゲル素材である **EXGEL®** (EXジェル®) とその機能を最大限に生かす伸張性の高い表皮材が使用されており、優れた体圧分散性を発揮します。ラテックスフリーなので、アレルギーの患者にも安心してご利用いただけます。
(EXGEL®は株式会社加地の登録商標です)



胸受けマット

皮膚表面にかかるズレ力(せん断力)をゲルの流動性が吸収し、内部組織に生じる応力を防ぎます。

腋窩枕

体圧分散性に優れており、側胸部に体圧が集中するのを防ぎます。

ベースフレームマット

弾力性があるので体位保持性が高く、身体 of 沈み込みが起こりません。肋骨や側胸部の底付きを防ぎます。

◎ラジオルーセント

体をサポートする部分に樹脂を使用しているため、X線写真撮影の妨げになりません。



適応

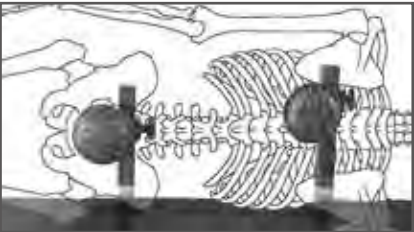
- ・人工股関節置換術
- ・人工骨頭置換術
- ・寛骨臼回転骨切り術
- ・その他、側臥位による手術一般

仕様

ご希望される骨盤部前方の固定方法によって下記4種類のタイプから選択してください

品番	商品名	規格
1-501-013-50	イソML-1st	スタンダードタイプ
1-501-013-60	イソML-1st	両腸骨L型コネクタータイプ
1-501-013-70	イソML-1st	恥骨L型コネクタータイプ
1-501-013-80	イソML-1st	恥骨／両腸骨タイプ

スタンダードタイプ



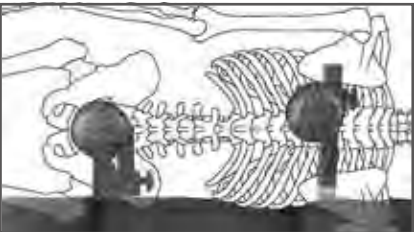
恥骨固定

両腸骨L型コネクタータイプ



両腸骨(上前腸骨棘)固定

恥骨L型コネクタータイプ



恥骨固定

※恥骨／両腸骨タイプは上記全ての固定方法が可能です。

使用方法

- 1 患者をベースフレームマットに載せ、側臥位にする際に腋窩枕をセッティングします。(この時に腋窩神経を圧迫しないよう、また腕がレールに直接当たらないように注意してください。)



- 2 事前にコネクターや胸受けなどをセッティングした4本の取付バーを本体レールにスライドさせ挿入します。
 - ・丸型胸受けマット…胸骨と恥骨もしくは腸骨(上前腸骨棘)に当てます
 - ・角型胸受けマット…背部や臀部に当てます。頭尾の位置が決まったら取付バーのレバーを倒して固定します。



- 3 各コネクターの高さを決めた後、胸受けを適度な圧迫が加わるように調節し、ボルトを締めて固定します。

